

名古屋大学大学院多元数理科学研究科
2007年度博士課程後期課程入学試験問題

以下の4題の問題すべてに解答せよ。

1 V を有限次元の複素ベクトル空間, f を V の線型変換とする。

(1) f が対角化可能であるための必要十分条件は, V が f の固有ベクトルで生成されることであることを証明せよ。ただし, f が対角化可能であるとは, V のある基底に関する f の表現行列が対角行列になることを意味する。

(2) W を V の部分空間で $f(W) \subset W$ となるものとする。 f が対角化可能であるとき, 以下を示せ。

(i) f から自然に誘導される線型写像 $g: V/W \rightarrow V/W$ も対角化可能である。

(ii) f から自然に誘導される線型写像 $g: W \rightarrow W$ も対角化可能である。

2 A を 3 次の複素正方行列とし, $\boldsymbol{x} = \begin{pmatrix} x_1(t) \\ x_2(t) \\ x_3(t) \end{pmatrix}$ において, 線型常微分方程式系

$$\frac{d\boldsymbol{x}}{dt}(t) = A\boldsymbol{x}(t)$$

を考える.

- (1) この線型常微分方程式系のすべての解が $0 \leq t < \infty$ のとき有界だとする. このとき, A の Jordan 標準型として可能な形をすべて求めよ.
- (2) この線型常微分方程式系のすべての解が $-\infty < t < \infty$ のとき高々多項式オーダーの増大度を持つとする. このとき, A の Jordan 標準型として可能な形をすべて求めよ.

3 極限

$$\lim_{x \rightarrow 0} (\cos x)^{\frac{1}{x \sin x}}$$

の値を求めよ.

4

(1) 関数 $f(t)$ は $[0, \pi]$ を含む开区間で C^1 級であるとする. このとき, 等式

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^\pi f(t) \sin \frac{(2n+1)t}{2} dt = 0$$

を証明せよ.

(2) 等式

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^\pi \left(\frac{2}{t} - \frac{1}{\sin(t/2)} \right) \sin \frac{(2n+1)t}{2} dt = 0$$

を証明せよ.

(3) 任意の自然数 n に対して

$$\frac{1}{2} \frac{\sin\{(2n+1)t/2\}}{\sin(t/2)} = \frac{1}{2} + \cos t + \cdots + \cos nt$$

が成立することを用いて, 広義積分

$$\int_0^{+\infty} \frac{\sin x}{x} dx$$

の値を求めよ.